

校長室だより～ロングビュー紀行 第4号 H29.9.1

埼玉県立和光高等学校 校長 村田 達

第3日目 8月22日(火)

今回の訪米の最大の目的がこの日に集中している。すなわちRAロング高校とマークモリス高校への訪問である。ピーダソンご夫妻に姉妹都市委員会の長アイリーンさんを加え4人で両校を訪れる。ちなみにアイリーンさんは市の教育委員会の舵取り役でもあった。

まずはやや郊外にそびえるRAロング高校に向かう。校舎の威容にまずは圧倒される。さらにリッチ・リーバス校長先生にも驚かされる。ちょうど新学期直前のお忙しい中だったが、半そで短パン姿に加え刺青も鮮やか。強面ぶりに緊張が高まったが話してみるとときさくで上品でとてもクレバー



な校長先生。学校経営の喜びや苦勞を語り合い（もちろん通訳付き）とても楽しい時間を過ごした。自ら校内を案内していただき、すれ違う生徒達からも敬愛されている様子がよくわかった。本題である「姉妹校」検討の話も快く受けてくださり道筋を開くことが出来たと考えている。肩の荷がおりた。

左の写真は、学校の愛称にもなっている「ランバージャック」像の前で記念撮影。ランバージャックとは「木こり」のことでさすが木材で栄えたロングビュー最古の伝統を誇る学校（1927年開校）。



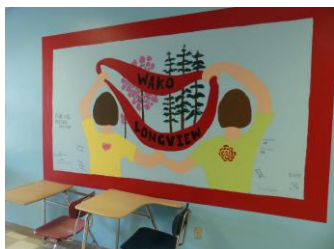
右は体育館で高所から鼓舞し見守るランバージャック。多くの対抗

戦で精神の拠り所となっているとのこと。行き交う生徒達も明るくややんちゃで和光高校にきわめて近い雰囲気を感じ好感を抱いた。最後に校長先生と固い握手。再会を誓った。

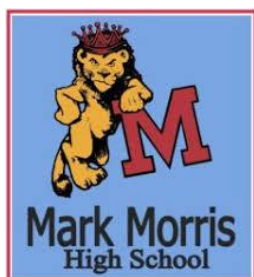


昼食をはさみ午後からはマークモリス高校に向かう。1957年開校の街のほぼ中心にある人気の学校だ。ちなみにラズさんはこの学校のOBである。

新学期直前の忙しい中をここでも校長先生自ら案内役をしていただく。フィル・スーク校長先生は知的で見るからに穏やかな方。生徒たちの尊敬を一身に受けているようだ。さすが和光国際高校との元姉妹校。今春に訪れた和光国際の生徒たちの描いた壁画が印象的だ。こちらの学校の愛称は「モナークス」、ライオンのことらしい。ライオンをモチーフにした壁画がいたるところで見られる。学校

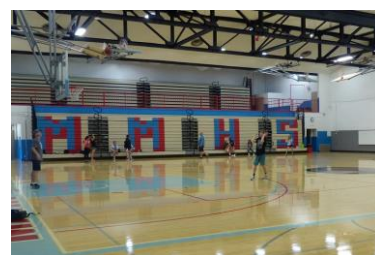


はまだ夏休み？ということでは部活動？の生徒たちが活動している。



水泳・水球・チアリーディング、女子サッカーは州代表レベル。バレーボールやバスケットボールもかなり強いらしい。ちなみにラズさんは吹奏楽部、アイリーンさんの娘さんはバレー部、息子さんはバスケットで活躍されていたそうだ。

最先端の設備が整った素晴らしい教室を案内していただきながら、高い教育力を感じることが出来た。後で聞いた話だがこの翌日に、和高中生二人が新入生オリエンテーションに加えていただき、学校の雰囲気を楽しんだそうだ。授業は困難だろうが、こうした交流はむしろ得意なのかもしれない。恵まれた施設と学ぶ環境の彼我の相違にかなりの羨望と嘆息を感じたが、充実の一日を終えともあれ今回の目的を果たした安堵感いっぱいホテルに戻った。



おまけ (マークモリスから)



生徒達は先生の待つ教室に移動して授業を受ける。従って教室はその先生の趣味が色濃く出る。地理・歴史の先生の部屋。



帰りがけに校門付近で生徒と記念写真。本当に「いいこ」ばかりだ。自動車での登校もOK。昼は車に乗ってピザ屋さんなどでランチをとるといふ。